

公開研究会のおしらせ

第17回 被疑者取調べ録画研究会

2015年12月11日(金)午後6時00分—8時00分

京都弁護士会館 (無料・要事前申込)

障がいのある少年に対する
取調べにおける配慮
オーストラリア・ビクトリア州の取組から

講師: 森久智江氏

(立命館大学法学部准教授)



いわゆる「可視化(被疑者取調べの録音録画)法案」は衆議院は通過したものの参議院での審議待ち状態だ。一方で、少年や障がい者に対する取調べの在り方については法律では特別な配慮がなく、実務に委ねられた状態である。今後の課題等について豪州から学んでみよう。

主催: 被疑者取調べ録画研究会

共催: 京都弁護士会

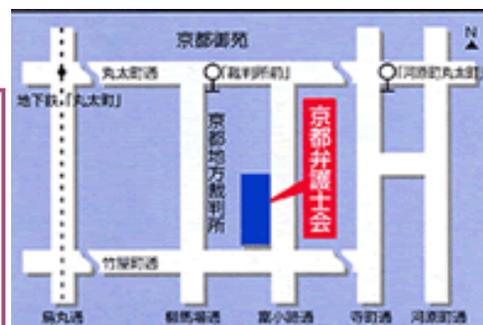
後援: 科研費新学術領域[法と人間科学]「取調べ録画と裁判員裁判」(代表・指宿信・成城大学教授)

懇親会(有料)
あり。必ず12
月7日までにお
申込み下さい。



会館へは公共の交通機関でお越し下さい。地下鉄丸太町下車徒歩5分。 問い合わせ・申し込み:
香川大学法学部吉井研究室 087-832-1725

Email: VisualRecord@aol.com



被疑者取調べ録画研究会について

主宰：指宿信（成城大学）

本研究会は、2008年3月に京都弁護士会裁判員制度実施本部（当時）有志が刑事司法関係諸機関の視察調査のためにシドニーを訪問した際にニューサウスウェールズ州警察の取調べ録画システムについてヒアリングを実施したことを契機に、京都弁護士会を会場として始まった。公開研究会への参加者は、弁護士、法学及び心理学の研究者等からなる。当初は日弁連法務研究財団の助成を受けて実施され、2011年からは科研費（新学術領域「法と人間科学」の「裁判員裁判と取調べ録画制度」（可視化班））の助成により運営されている。

以下はこれまでの開催記録である。

第1回 2008年5月28日

「オーストラリアにおける被疑者取調べ、自白そしてビデオ録画」

講師：シル・ハンター氏（ニュー・サウス・ウェールズ大学教授、豪州）

第2回 2008年7月23日

「取調べ録画ビデオのインパクトをめぐって」講師：黒沢香氏（東洋大学教授）

第3回 2008年12月4日

「取調べ一部録画の危険性－セントラル・パーク・ジョガー事件を素材として」

講師：伊藤和子弁護士（東京弁護士会）

第4回 2009年2月26日

「カナダにおける被疑者取調べ録画制度」講師：指宿信氏（立命館大学教授・当時）

第5回 2009年6月4日

「野田事件における自白テープをめぐって」講師：浜田寿美男氏（奈良女子大学教授・当時）

第6回 2009年10月1日

「高野山放火事件と被疑者取調べ」講師：後藤貞人弁護士（大阪弁護士会）

第7回 2010年2月19日

「取調べ録画証拠と自白の信用性－佐賀事件に学ぶ」

講師：美奈川成章弁護士（福岡県弁護士会）

第8回 2010年8月26日

「イギリスにおける取調べの可視化」講師：指宿信氏（成城大学教授）

第9回 2011年1月31日

「足利事件録音テープに学ぶ」

講師：佐藤博史弁護士（第二東京弁護士会、早稲田大学教授）

第10回 2011年12月9日

「可視化問題の現状」講師：小坂井久弁護士（大阪弁護士会）

第11回 2012年7月6日

「大阪東署事件と可視化問題」講師：秋田真志弁護士（大阪弁護士会）

第12回 2012年12月7日

「可視化時代の取調べ技法」講師：高木光太郎氏（青山学院大学教授）

第13回 2013年6月7日

「取調べ可視化と被疑者への面接法」講師：仲真紀子氏（北海道大学文学部教授）

第14回 2013年12月6日

「被疑者取調べの録音・録画制度と記録媒体の使用法」講師：安部祥太氏（青山学院大学大学院）

第15回 2014年12月5日

「知的障がい者等の取調べと可視化問題」講師：京 明氏（関西学院大学准教授）

第16回 2015年7月3日

「中国・台湾における取調べの可視化：その現状と課題」講師：鈴木賢氏（明治大学法学部教授）